

簿記マスター演習

～ 簿記一巡の手続き ～

講師
粕谷和生

今回は、簿記の手続きを“山登り”にたとえて、「取引 → 仕訳 → 総勘定元帳への転記 → 残高試算表の作成 → 決算」という順序で演習を通して確認します。決算については、総勘定元帳の締め切りのほか、損益計算書・貸借対照表の作成まで行います。番組に出てくる演習問題を下記に掲載しますので事前に取り組んでおいてください。

調べておこう・覚えておこう

仕訳／転記／総勘定元帳／
残高試算表／決算

仕訳 転記

まず初めに登山ルート上の登山口にあたる「仕訳」です。仕訳とは取引を分解し、それを勘定記入の方法にしたがって、勘定科目と金額を借方・貸方に並べて書くことをいいます。



問 次の取引の仕訳を示しなさい。

【取引】

- 5月 1日 さかっち商店は、現金¥600,000を元入れして営業をはじめた。
- 2日 備品¥250,000を現金で買い入れた。
- 8日 商品¥300,000を仕入れ、代金は掛けとした。
- 13日 銀行から現金¥150,000を借り入れた。
- 17日 仕入価額¥110,000の商品を¥140,000で売り渡し、代金は現金で受け取った。
- 20日 仕入価額¥150,000の商品を¥190,000で売り渡し、代金のうち¥100,000は現金で受け取り、残額は掛けとした。
- 22日 買掛金¥70,000を現金で支払った。
- 25日 従業員に給料¥50,000を現金で支払った。
- 30日 売掛金¥80,000を現金で受け取った。
- 31日 銀行に借入金¥110,000と利息¥1,000を現金で支払った。

【仕訳】

5月1日	(借) _____	(貸) _____
2日	(借) _____	(貸) _____
8日	(借) _____	(貸) _____
13日	(借) _____	(貸) _____
17日	(借) _____	(貸) _____

20日	(借)	_____	(貸)	_____
		_____		_____
22日	(借)	_____	(貸)	_____
25日	(借)	_____	(貸)	_____
30日	(借)	_____	(貸)	_____
31日	(借)	_____	(貸)	_____

次は転記帳に進みます。「転記」とは、仕訳の結果を勘定口座に書き写すことをいいます。仕訳において借方に出てきた勘定科目の金額は、その勘定口座の借方に転記します。一方、仕訳の貸方に出てきた勘定科目の金額は、その勘定口座の貸方に転記します。

問 上記の仕訳にもとづいて、次の勘定口座に転記しなさい。

【転記】

□ 総勘定元帳 □			
現金			
売掛金			
商品			
備品			
買掛金			

残高試算表の作成

次は、試算表展望台です。「試算表」とは、勘定口座への転記が正しく行われているかをチェックするために作成します。試算表は3種類ありますが、今回は残高試算表を作成します。

【残高試算表】

問 31、32 ページの勘定口座の記録にもとづいて残高試算表を作成しなさい。

残 高 試 算 表		
平成〇年5月31日		
借 方	勘 定 科 目	貸 方
	現 金	
	売 掛 金	
	商 品	
	備 品	
	買 掛 金	
	借 入 金	
	資 本 金	
	商 品 売 買 益	
	給 与	
	支 払 利 息	

決算 各勘定の締め切り・損益計算書 貸借対照表

いよいよ頂上の「決算」です。決算のメインイベントである「総勘定元帳の締め切り」をやってみましょう。まずは、決算振替仕訳からです。

【決算振替仕訳】

問 決算に必要な振替仕訳を示し、各勘定口座に転記しなさい。

収益の各勘定の残高を損益勘定に振り替える → 転記

(借) _____ (貸) _____

費用の各勘定の残高を損益勘定に振り替える → 転記

(借) _____ (貸) _____

当期純利益を資本金勘定に振り替える → 転記

(借) _____ (貸) _____

【総勘定元帳の締め切り】

問 31、32 ページの総勘定元帳を締め切りなさい。

【決算の報告】

決算は、「決算の報告」すなわち**損益計算書**と**貸借対照表**を作成して終了します。損益計算書は損益勘定などをもとに作成します。また、貸借対照表は資産・負債・資本の各勘定の「次期繰越」をもとに作成しますが、資本金勘定の次期繰越は期首の資本金の金額と当期純利益に分けて表示することに注意しましょう。

問

今回の演習の仕上げとして、さかっち商店の損益計算書と貸借対照表を作成しなさい。

損益計算書

さかっち商店		平成〇年5月1日から平成〇年5月31日まで		(単位：円)
費用	金額	収益	金額	

貸借対照表

さかっち商店		平成〇年5月31日		(単位：円)
資産	金額	負債および純資産	金額	

解答

5月 1日	(借) 現 金	600,000
2日	(借) 備 品	250,000
8日	(借) 商 品	300,000
13日	(借) 現 金	150,000
17日	(借) 現 金	140,000
20日	(借) 現 金	100,000
	売 掛 金	90,000
22日	(借) 買 掛 金	70,000
25日	(借) 給 料	50,000
30日	(借) 現 金	80,000
31日	(借) 借 入 金	110,000
	支払利息	1,000

(貸) 資 本 金	600,000
(貸) 現 金	250,000
(貸) 買 掛 金	300,000
(貸) 借 入 金	150,000
(貸) 商 品	110,000
商品売買益	30,000
(貸) 商 品	150,000
商品売買益	40,000
(貸) 現 金	70,000
(貸) 現 金	50,000
(貸) 売 掛 金	80,000
(貸) 現 金	111,000

現 金					
5/1	資本金	600,000	5/2	備 品	250,000
13	借入金	150,000	22	買掛金	70,000
17	諸 口	140,000	25	給 料	50,000
20	諸 口	100,000	31	諸 口	111,000
30	売掛金	80,000	〃	次期繰越	589,000
		1,070,000			1,070,000

売 掛 金					
5/20	諸 口	90,000	5/30	現 金	80,000
		90,000	31	次期繰越	10,000
					90,000

商 品					
5/8	買掛金	300,000	5/17	現 金	110,000
			20	諸 口	150,000
			31	次期繰越	40,000
		300,000			300,000

備 品					
5/2	現 金	250,000	5/31	次期繰越	250,000

買 掛 金					
5/22	現 金	70,000	5/8	商 品	300,000
31	次期繰越	230,000			
		300,000			300,000

借 入 金					
5/31	現 金	110,000	5/13	現 金	150,000
〃	次期繰越	40,000			
		150,000			150,000

資 本 金					
5/31	次期繰越	619,000	5/1	現 金	600,000
		619,000	31	損 益	19,000
					619,000

商品売買益					
5/31	損 益	70,000	5/17	現 金	30,000
		70,000	20	諸 口	40,000
					70,000

給 料					
5/25	現 金	50,000	5/31	損 益	50,000

支 払 利 息					
5/31	現 金	1,000	5/31	損 益	1,000

損 益					
5/31	給 料	50,000	5/31	商品売買益	70,000
〃	支払利息	1,000			
〃	資本金	19,000			
		70,000			70,000

残高試算表

平成〇年5月31日

借方	勘定科目	貸方
589,000	現金	
10,000	売掛金	
40,000	商品	
250,000	備品	
	買掛金	230,000
	借入金	40,000
	資本金	600,000
	商品売買益	70,000
50,000	給与	
1,000	支払利息	
940,000		940,000

損益計算書

さかっち商店 平成〇年5月1日から平成〇年5月31日まで (単位:円)

費用	金額	収益	金額
給料	50,000	商品売買益	70,000
支払利息	1,000		
当期純利益	19,000		
	70,000		70,000

貸借対照表

さかっち商店 平成〇年5月31日 (単位:円)

資産	金額	資産および純資産	金額
現金	589,000	買掛金	230,000
売掛金	10,000	借入金	40,000
商品	40,000	資本金	600,000
備品	250,000	当期純利益	19,000
	889,000		889,000